

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	スマートインターチェンジ整備事業			コード	141104
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	都市計画課	作成者 小口 直伸
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	交通網の整備	施策	道路の整備
		予算科目	スマートインターチェンジ整備事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	スマートインターチェンジ整備事業制度実施要綱		

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要（簡潔に）	諏訪湖SAへのスマートIC整備により、渋滞緩和、観光拠点へのアクセス短縮、物流の効率化、地域産業の活性化、災害対応強化、市民の利便性の向上、救急医療の迅速化を図る。		
目的	対象者	市民	
	意図	市民の利便性の向上、将来の地域活性化に寄与する。	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年4月24日 スマートIC計画に関する住民説明会 具体的なアクセス道路のルート案を説明。</li> <li>・H30年6月12日 小坂区研究・検討委員会から賛同を得る。</li> <li>・H30年9月26日 第3回準備会の開催 課題と方針の共有を図る。</li> <li>・H30年10月12日 スマートIC計画に関する住民説明会を開催 具体的なアプローチ道路のルート案を説明。</li> <li>・H30年11月28日 臨時小坂区民総会開催 スマートIC設置に関し賛成多数で可決〔合意形成完了〕</li> <li>・H31年1月10日 第4回準備会の開催 地元説明会の状況の共有、課題を整理する。</li> <li>・H31年3月13日 岡谷市、諏訪市が国土交通省、財務省へ早期連結許可を要望。</li> <li>・H31年3月20日 第5回準備会の開催 コスト縮減、実施計画書（素案）確認、整備効果などをまとめる。</li> </ul>		
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業への地元の合意形成完了</li> <li>・実施計画書の作成（大方国の了承を得ている）</li> </ul>		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]	
	区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 直接事業費	直接事業費	96,592	72,680	8,950,115	31,664,000	
	経常経費					
	臨時的経費	96,592	72,680	8,950,115	31,664,000	
	* 臨時的経費の説明	アクセス道路の詳細設計等にかかる費用				
② 人件費	人件費	3,200,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000	
	正規職員の人数(人)	0.40	0.40	0.40	0.40	
③ 合計コスト (①+②)	合計コスト (①+②)	3,296,592	3,272,680	12,150,115	34,864,000	
	前年度比		99.3%	371.3%	286.9%	
	財源内訳	一般財源	3,296,592	3,272,680	12,150,115	5,257,000
		特定財源	0	0	0	29,607,000
* 特定財源の説明	国補助金、地方債					
④ コストに関する補足説明	アクセス道路の詳細設計等にかかる費用					

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
社会資本整備総合交付金	件数	0	0	0	1
	金額	0	0	0	15,607,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	15,607,000
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	49.29%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NEXCO中日本等よりの道路構造的課題のクリア</li> <li>・補償物件等交渉</li> <li>・公安協議等の各種協議</li> <li>・実施計画書認可、連結許可への国への働きかけ</li> <li>・ガスパイプライン等の占用物調整</li> <li>・事業費の縮減</li> <li>・用地等買収への理解・承諾</li> <li>・県道事業の人的補助</li> </ul>
改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造検討の継続</li> <li>・補償物件等交渉の継続</li> <li>・交差点協議、許可の申請</li> <li>・国への要望活動</li> <li>・占用物件調整</li> <li>・補助金等の事業費の確保</li> <li>・用地買収交渉の継続</li> <li>・県道事業への関与</li> </ul>
改善開始時期	令和元年6月

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
----------	--------	--	---